

学年	1 学年	実施期間	6 月 1 日 (月) ~ 6 月 5 日 (金)
----	------	------	---------------------------

教科	科目名	単元又は題材	学習の目標	課題等	評価について
国語	国語総合	漢字	○文章を読んだり、書いたりするために必要な漢字の知識を身につける。	○「入試頻出漢字TOP2500」P12~P20の漢字を正確に書けるようにする。 ○学習の目標を意識して見通しを立て、学習を進める。	○授業再開時に確認小テストを行い「知識・理解」を評価する。 ※ グーグルクラスルームに確認テスト（解答付き）を掲載する予定です。自己採点等をして知識を確実なものにしてください。 【評価規準】 ・語句の意味、用法及び表記の仕方を理解し、語彙を豊かにしている。（知識・理解）
地理歴史	世界史A				
	日本史A	○近代国家と社会の形成 ・大日本国憲法	○大日本国憲法の制定過程とそれに伴う政治機構の変容を理解する。 ○大日本国憲法の特徴を現行憲法との比較を通じて理解する。 ○初期議会における民党の役割を理解する。 ○これらの歴史的事項に関する出来事や人名などの知識を習得する。	○教科書p. 32~33を読み、次の問いについて調べたり考えたりしたことをまとめる。 ①憲法制定の過程を調べ、同時期に行われた政治機構の改変の理由や背景を考える。 ②大日本国憲法の特徴を評価できる点と問題点に分けて調べる。 ③初期議会における民党の主張の変化を、国際的な視点から考える。 ④①~③と現代の社会とのつながりを考える。 *詳細は、G Suiteの指示を参照する。	○レポートの内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・学習の目標にある事項について、主体的に学習する姿勢を示している。（関心・意欲・態度） ・学習の目標にある事項について、自ら問いを立て、諸資料を適切に活用してレポートを作成している。（思考・判断・表現）（資料活用の技能） ・学習の目標にある事項について、基本的な知識事項を適切にまとめている。（知識・理解）
数学	数学 I	数と式	基礎的な知識及び技能の習得 ・具体的な事象における数量の大小関係を不等式で表すことができる ・不等式の性質を理解し、一次不等式の解を求めることができる	教科書及び、問題集（STAGE）の与えられた問	○数量の大小関係の表現に対する不等式の有用性に関心をもち、具体的な事象における数量の大小関係を不等式で表そうとする。（関心・意欲・態度） ○1次不等式の解の意味について考察することができる。（見方・考え方） ○不等式の性質を利用して、不等式の解を求めることができる。（技能）
	数学 A	集合と場合の数	基礎的な知識及び技能の習得 ・積の法則について理解し、順列や階乗の計算をすることができる。	教科書及び、問題集（STAGE）の与えられた問	○順列や積の法則について、考察することができる。（見方・考え方） ○順列、階乗の公式を用いて、さまざまな問題を解くことができる。（技能） ○順列、階乗の用語の意味と、それらの公式を理解している。（知識・理解）
	物理基礎	平均の速さと瞬間の速さ	平均の速さ、瞬間の速さの違いを理解し、実際のグラフで活用する。	教科書P10~13を参考にしてHPにアップした課題に取り組む。プリントアウトできない場合は、ルーズリーフやノートに解くこと。 6月1日から新しい課題をアップしました。	○速度に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究する態度を身につけている。（関心・意欲・態度） ○速度について、定性的にとらえ、正しく計算できる。（思考・判断・表現） ○グラフから正しく運動を読み取る。（実験・観察の技能） ○基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。（知識・理解）

理科	化学基礎	○物質の構成粒子・物質と元素	○物質の種類と性質について、元素を含めた形で内容について理解する。	○化学基礎の教科書P14～21を読み、HPに載せた課題プリントに取り組むこと。プリンターのある人は課題を印刷して解答を直接記入してかまわない。ない人はノートまたはレポート用紙(ルーズリーフ)に解答を記入して提出する。 【提出時の注意】 必ず「クラス」「出席番号」「氏名」を表記する。レポート用紙(ルーズリーフ)は左上にホチキス留めをする。これまでの課題も同様の処理をしておくように。	○前週までの評価基準をもとにプリントの内容、提出状況で評価する。(関心・意欲・態度、思考・判断・表現、知識・理解)
	体育	○体育スポーツの競技種目	スポーツの競技種目について、歴史・特性・ルール等について理解する。	スポーツの競技種目の中から興味のあるテーマを決め、レポートを作成する。 テーマの例：バスケット、バドミントン、ソフトボール、柔道、器械運動等 主要内容：その競技種目の歴史、特性、ルール等 レポート作成にあたって 1. A4サイズ。枚数は表紙を入れて2枚以上。表や図の挿入など、書式自由。 2. 表紙をつけること(テーマ、学年、クラス、番号、名前) 3. 手書きであること 4. 考察(感想や考えたこと)を入れること 5. レポートの最後に「参考文献」を入れること	レポートの内容により、「知識・理解」「思考・判断」の観点で評価する。 【評価基準】 ・スポーツの競技種目について、必要な情報を比較したり、分析したりしてまとめた考えを説明することができる。(思考・判断) ・スポーツの競技種目について、書き出すことができる。(知識・理解) 提出：6月8日以降提出 ★これまでのレポートの提出について★ これまでの3部のレポートは、6月3日(水)の登校日に提出締切とします。
	保健	1 単元 現代社会と健康 6. 食事と健康	健康な生活を送るための生活習慣の一つとして、食事のとり方が大きな影響があることを理解する。 健康的な食生活はどのようなものか理解する。 自分の生活習慣を振り返り、今後の生活に役立てることができる。	①保健体育ノートP.12の問題に取り組む ②NOTE(右側ページ)に学んだことや感想を書く。	提出されたノートの解答や記述等から、「思考・判断」の観点で評価する。 【評価基準】 ・食事と健康について、資料等で調べたことを基に、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明することができる。 ・食事と健康について、理解したことを記述している。 【提出】 学校再開後、保健体育ノートを提出。
芸術	音楽 I	ソナタ形式	クラシック音楽において古典派時代から発展してきたソナタ形式について理解を深める。	「ソナタ形式について」レポートを作成する。 ①表紙(題名.クラス.番号.名前) ②ソナタ形式について調べたり、ソナタ形式の楽曲(古典派より後の時代のものでもよい)を聴くなどして、それぞれの曲想についても触れながら提示部・展開部・再現部の特徴をまとめよう。 ③感想	提出された課題を次のように評価する。 ・関心を持ってレポート作成に取り組み、曲想と音楽の構造との関わりを理解している。(鑑賞の能力)

芸術	美術 I	○美術鑑賞	○古今東西の美術作品鑑賞を通して人間の社会・個人の多様性や精神世界に触れると共に美術を特別なものではなく身近な存在の文化であることを認識する。	引き続き美術関係のTV番組を鑑賞する習慣をつけるようにしてください。番組から学んだことや感想を、TV番組の名称や鑑賞した日付と共に数行程度（メモ程度で可）にまとめる習慣をつけてください。レポート用紙または美術専用のB5サイズノートを使い、授業時に提出してください。	提出されたものについては評価の材料にします。 ・学習の目標にある事項について、主体的に学び取ろうとしている。（美術への関心・意欲・態度） ・学習の目標にある事項について、感性や想像力を働かせて、造形的美しさや作者の意図などを素直に感じ取っている（鑑賞の能力）
外国語	コミュニケーション 英語 I	MY WAY:Lesson1 A Story about Names Lesson2 Messages from Yanase Takashi	○日本や日本以外の国の人の名前の順序・成り立ちを読み取ることができる。 ○やなせさんがアンパンマンに込めたメッセージについて自分の考えをまとめることができる。	①Q&A (p. 12, p. 14, p. 16) の丸付けをPDFファイルを参照しながら行う。 ②Lesson1・Lesson2のsection1～section3の教科書本文を3回ずつ大きな声で音読する。 ③これまでの全ての課題の確認を行い、終わらせておく。	○課題の内容・振り返りを次の評価規準により評価し、学期及び年間の評価材料とする。 ・学習の目標・課題について、主体的に学習する姿勢を示している。（関心・意欲・態度）
	英語表現 I	BIG DIPPER:Lesson5 My Family	○現在形・過去形・現在進行形・過去進行形の基本的な文法事項を理解したうえで問題演習の復習を行い、簡単な英語を使って身の回りの出来事を英語で表現できるようにする。	○前回の課題：BIG DIPPER p.16の英語例文とその和訳、p.17の解いた問題をPDFファイルを参照しながら、丸付けをする。くわしい解説は参考書ラーナーズ高校英語の第3章「動詞と時制(1)」p.60～67に載っているのを参考にするよ。	○提出された課題の内容を次の評価規準により評価する。 ・参考書(ラーナーズ高校英語)等も参照しながら主体的に理解に努め、課題に丁寧に取り組んでいるか。（関心意欲態度） ・授業開始後の授業や試験で課題への取り組みの成果が見られるか。（表現/知識・理解）
家庭	家庭基礎	住生活をつくる ○大地震について、考える	○災害（大地震）が起きた場合に備え、減災・防災の意識を高める。 ○災害（大地震）の対策について検討することができる。	レポート用紙に次の①～④の内容を調べてまとめる。 ①我が家の防災対策 ②地域の防災対策 ③改善点 ④振り返り	・家、地域の防災対策を明確に調べ、まとめられているか。（知識・理解） ・改善すべきことに気づき、振り返りが明確に行えたか。（知識・理解）
総合的な探究の時間					